

はじめに

医学の分野は他の自然科学の諸分野と覇を競いながら著しい進歩を遂げてきている。確かに医学の発達人類に多大な恩恵をもたらしてきたが、その一方で人間の想像をはるかに超えた領域にまで触手を伸ばしてきた。人が病に苦しみ悩むとき、その状況を目にした人は誰でもその人を救ってあげたいと願う。そのなかで病人を救うことを使命と考え、それを職業として選んだ者が医師となった。病人が存在してはじめて、医師という職業が誕生した。したがって医療の根底には常に患者が存在するのである。しかも患者は個々に異なる人生観をもち、自己決定の意志をもつ。「ひとりの患者と一生つき合う」という個に目を向けた態度こそが、今日の変貌する社会状況のなかでますます求められているのではなからうか。「医師と患者」ではなく、「患者と医師」この関係こそが医療の原点であるのだ。

では、医学部入試に求められているものは何か。医学部志望の受験生にとってはこれまで以上に幅広い勉強が求められ、入試の方法も複雑化してきている。実際に医学部の入試問題を調べてみると、医学・医療の観点から一定の知識を土台にした出題、さらには「小論文」として出題されている英語の内容は専門特化したもので、高校生の学習範囲を超えているものもある。医学部を志望することは、その自覚をもち、医学・医療に人並み以上に興味をもつことを前提としているため、ある一定の知識は当然要求され、その知識をどのように活用できるかが試されてもいるのだ。

そこで医学部入試問題を分析的に見ると、国公立大医学部の問題は、専門雑誌、学術書といったものからの出典が依然目立つ。設問別に見ると、国公立大医学部は記述型で英文和訳、内容説明問題が中心であるのに対し、私立大医学部は客観型で内容一致問題、空所補充問題などの出題傾向で安定している。出題される英文のトピックスは、多様ではあるが、今日的な問題に視点を置いた科学分野からの出題が散見される。そのような状況を踏まえ、過去約10年分の問題に目を通し、質的、量的に読み応えのある英文をセレクトした。さらに、英文素材が英文の重要な構造や文法・語法を網羅するように配慮した。したがって医学部志望の受験生だけでなく、他学部志望の受験生にも十分に役立つはずである。

本書の構成は、精選した英文をジャンルごとにUnitを10に分け、英文の量、問題形式の点から1つのUnitを4題で構成している。さらにUnit11として自由英作文問題のアプローチ5題を用意した。これは単に自由英作文力をつける目的だけでなく、面接対策などを意識して「医師の倫理」などに触れた問題を意図的に選んだ。

この問題集はどこから使っても耐え得るように作成してある。中長期計画のもとで、この問題集を手にした受験生は、Unit1からの学習をすすめる。直前期にこの問題集に取り組もうと思っている受験生は、受験校の出題傾向に照らし合わせ、狙われやすいテーマのUnitを優先して学習することをすすめる。

◆問題編は「総合完成問題」、「下線部和訳問題」、「内容説明問題」、「内容一致問題」、「空所補充問題」と「自由英作文問題」から成っている。設問に関しては、学習効果が上がるように設問を意図的に削除したものもある。

◆解説編の構成は以下の通りである。

- ・TRANSLATION「全訳例」：できるだけ構造が理解できるように訳出を試みた。
- ・ANSWERS「解答例」：特に自分の考えを論述する問題については、「解答例」はあくまでも参考程度にし、むしろ批判的に読みながら自分の考えを培っていただきたい。

- **EXPLANATIONS** 「設問解説」：解答を導くポイントを具体的に記述した。
- **STRUCTURE** 「構造」：本文の中で押さえておきたい構造を含んだ文を抽出し、それに文法的説明を加えた。
- **GLOSSARY** 「語彙」：英文中から受験に必要と思われる重要単語を抽出した。脚注にある語彙であっても重要と思われるものはここに入れた。
- **KEY WORDS** 「背景知識」：頻出のトピックスについて背景知識とその重要単語をまとめてみた。
- **FURTHER STUDY** 「発展研究」：関連事項をいっそう掘り下げた解説あるいは語彙などを加えた。

解説に使用している記号

[]	… 構造上の要素
S = Subject	… 主語
V = Verb	… 動詞
O = Object	… 目的語
C = Complement	… 補語
<i>do</i>	… 動詞の原形
<i>to do</i>	… to 不定詞
<i>doing</i>	… 現在分詞
<i>done</i>	… 過去分詞
A / B	… 名詞 (句)
①②③ …	… 訳出の順番
→	… 解説 / 訳
⇒	… 用例
=	… 同意 / 同格
≈	… ほぼ同意
⇔	… 反意語
(英語)	… 省略可能
(日本語)	… 補足説明
… / ~	… 語 (句), 節
cf.	… 比較・参照
A < B / B > A	… A は単数形, B は複数形
φ	… 省略

●第6パラグラフ第5文〈付帯状況の with 構文の読み取り〉

... while much of the industrialized world is enjoying the same, ... an even higher, standard of material blessings.

↓ ↓ ↓ ↓

... with much of the industrialized world enjoying the same, ... an even higher, standard of material blessings.

付帯状況の with + A (名詞) + ①現在分詞 / ②過去分詞 / ③形容詞 / ④副詞 / ⑤前置詞句

- ① A girl was running along the beach **with** her hair *blowing*.
(髪をなびかせて少女が浜辺に沿って走っていた)
- ② She was sitting there **with** her eyes *closed*. (彼女は目を閉じてそこに座っていた)
- ③ Don't speak **with** your mouth *full*. (口にもものを入れたままでしゃべってはいけない)
- ④ I would often fall asleep **with** the TV *set on*. (テレビをつけたままよく眠り込んでしまったものだ)
- ⑤ He was standing there **with** his hands *in his pockets*.
(手をポケットに突っ込んで彼はそこに立っていた)

GLOSSARY

- unmatched 「無類の」
- inevitably 「必然的に」
- propel 「推進する」
- beyond reach 「手が届かない」
- number 「…の数に達する」
- impoverished 「貧窮に陥った」
- the [our] planet 「地球」 (= the earth)
- all too often 「あまりにも頻繁に」 (望ましくないことが頻繁に起きる場合に用いる)
- fond 「(期待などが) 愚かな」 (our fondest のように主語領域にある場合, even を補って解釈することがある)
- frustrate 「くじく」
- infectious 「感染症の」
- diversity 「多様性」 (元来は人種, 性別, 宗教を指し, 最近では高齢者, 障害者などを含めた多様性のこと)
- illiterate 「読み書きができない」

KEY WORDS

南北問題(north-south problem)とは、地球の北半球温帯地域以北に集中している先進資本主義諸国(advanced capitalist countries)と、以南に多く位置する開発途上国(developing countries)との間の著しい経済格差から生じる経済的、政治的諸問題を指す。さらに情報化時代(the Information Age)に入り、情報の南北問題と言われる情報の格差(information gap)も拡大している。所得、年齢、人種、教育、地域、先進資本主義諸国と開発途上国の違いにより、コンピュータやインターネットなどの情報技術(information technology)を使える人と使えない人との間に生じる経済的・社会的格差のことをデジタル・ディバイド(digital divide)という。

Unit 3 ▶▶▶

1 「脳の働きと性差の関係」

TRANSLATION

「生物学的には女性は男性よりも感情面で発達し、また洗練されている」。おそらくこの説に異議を唱えた人は多いだろう。そうした人の中には「女性はヒステリックである」という古い固定観念を用いる人もいれば、女性と男性は社会によって決定されたそれぞれの感情表現をしているだけだという人もいる。さらには、「感情は個人的で主観的なので、科学的には測れない」という人もおそらく少しはいるだろう。これらの人は皆間違っている。なぜなら、男性と女性は感情を異なった形で処理しているという明らかな生物学的証拠が現在ではあるからだ。

つい最近までなら、心理学者でさえもこの説に異議を唱えたであろう。その心理学者らの主張は、心理学的疑問、会話分析、行動研究から得られるデータで裏づけられていて、さらにそうしたもののすべては古い固定観念、たとえば女性のほうが感情を強烈に表現し知覚する傾向にあり、その一方で男性は感情を隠すことや女性のほうが他人の感情にすばやく気づき反応するなどといったことを裏づけている。しかしながら、今では、心理学者は人間の脳の中で起こっていることを直接照会でき、最新の画像技術を用いて、感情の生物学的基礎研究ができる。これらの新しい技術は神経系の活動の変化を見つけ、男性と女性の脳は同じではないことを示している。実は、目下の問題点はもはや感情面での生物学における性差であるかどうかではなく、それらの違いが何を意味し、発達のどの段階でその違いが起こっているのかということである。

しかしながら、脳におけるこれらの性差を考えると、次の通りひとつの重要な点を忘れてはならない。⁽¹⁾いくつかの感情に関して、研究者は異性間におけるより同性間における脳のCT（コンピュータX線断層写真撮影）映像に、より大きな違いを認めている。さらに、女性は「感情面をつかさどる」右脳によって支配されているのに対して、男性は「論理面をつかさどる」左脳によって支配されているという考えは、時代遅れである。脳の中における働きの区分は、それほど単純なものではない。

2、3年前、アメリカ合衆国メリーランド州、ベセズグにある国立精神衛生研究所（NIMH）において、研究者は臨床的うつ状態にある人の脳に何が起るのかを理解しようとした。研究者は健康な被験者に、たとえば子どもの誕生といった楽しい出来事を想起するように求めた。それから研究者は被験者の脳を走査した。男性と女性の両方において、計画立案に関係する大脳皮質の部分では、脳の活動は衰えた。それと対照的に、悲しいことを考えると、男性より女性のほうが何倍も激しい必要以上の脳の活動を一気に引き起こした。女性が驚嘆や悲哀を経験したとき、女性の脳は前頭葉の近くで花火の打ち上げと同じように輝くが、男性においては神経系の活動はずっと落ち着いている。このことによって、なぜ女性が男性の2倍も臨床的うつ状態を経験するのが説明できるだろう。つまり、悲しみに対する脳の反応の激しさが、女性の感情組織を損なうのであろう。

つい最近、NIMHのチームは、男性と女性の脳が怒りを示すやり方に違いがあることを発見した。女性は怒っていたときのことを想起するとき、男性には見られない必要以上の脳の活動を一気に引き起こす。しかし、今このことが別の問題を引き起こしている。たとえば、怒っている間の脳の活動は、男性と女性では異なっているように見えるが、その活動は両者にとって異なった感じがするのだろうか。男性も女性も同じ「感情言語」を持っているのだろうか。残念ながら、科学はまだ主観的感情を数量で表すことができない。はっきり言って、男性と女性が異なった感情的な生活を送っていることを示すことで、何かに役立つのだろうか。心理学者のルーベン・ガーとラケル・ガーは、それは役に立つ、つまり「私たちが

EXPLANATIONS

設問1 第6と第8パラグラフの内容が手掛かりとなる。

STRUCTURE & EXPLANATIONS

●下線部1)〈コロンの読み取り〉

one important point must be remembered: (= as follows)

「次の通りひとつの重要な点を忘れてはならない」

〈比較対象の読み取り〉

researchers see greater differences in brain CT images between individuals of the same sex than between the sexes (= between the individuals of the different sexes).

〈同格構造, S+V 関係, while の読み取り〉

Furthermore, 「次に述べられる新情報に注意を引きつける」その上に(=besides)」

the idea is outdated.

that women are ruled by the 'emotional' right side of the brain,

while men are controlled by the 'logical' left hemisphere

while の3つの読み方 → ①「(期間)…している間に」②「(譲歩) …だけれども」

≠ ③「(対比) だが一方」

〈副詞 that の読み取り〉

The division of work within the brain is not that simple.

「(副詞) <数量・程度を指し>それほど」

●下線部2)〈while と such as の読み取り〉

In this research, activity on the left side of the brain is linked to

positive emotions such as happiness and amusement

[抽象的内容] たとえば [具体的内容]

while right brain activity is linked to negative emotions such as sadness and fear.

対比

[抽象的内容] たとえば [具体的内容]

〈共通構造と重複を避けるための省略の読み取り〉

... tend to have more right and less left brain activity than optimistic and cheerful people.

→ ... tend to have

more right (brain activity)
less left brain activity

 than optimistic and cheerful people.

〈移動構文の読み取り〉

... sex differences are harder to detect. → It is harder to detect sex differences .

to 不定詞の目的語が It の位置へ移動

Sex differences are harder to detect.